



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7238 URL <https://www.akebono-brake.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 宮地 康弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 事業管理部長 (氏名) 小野崎 正史 (TEL) 048-560-1501  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	112,890	12.2	120	△96.5	2,749	△25.5	2,013	△20.1
2022年3月期第3四半期	100,616	3.3	3,437	—	3,688	—	2,521	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,988百万円(7.8%) 2022年3月期第3四半期 4,628百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	15.07	4.09
2022年3月期第3四半期	18.87	5.55

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	149,431	53,888	30.9
2022年3月期	139,674	48,901	30.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 46,153百万円 2022年3月期 42,582百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	153,800	13.5	△500	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

為替差損益などの影響を見通すことが困難であることから、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益につきましては、未定とさせていただきます。合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	135,992,343株	2022年3月期	135,992,343株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	2,408,706株	2022年3月期	2,413,809株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	133,582,170株	2022年3月期3Q	133,578,610株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				—	—

(注) 1. A種類株式の発行数は20,000株であり、2019年9月30日に発行しております。

2. 2023年3月期の期末の配当予想額は、現時点では未定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	
2023年3月期 第3四半期連結累計期間 決算概要	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社第3四半期(2022年4月1日～2022年12月31日)における当社グループを取り巻く事業環境は、半導体不足の影響は地域ごとの差はあるものの段階的に改善傾向にあります。中国のロックダウンによる部品供給不足などのサプライチェーン問題に起因する完成車メーカーの減産に加え、地政学的リスクの増大などによる原材料価格やエネルギーコストの市況高騰など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間(注)における当社グループの業績は、半導体不足やサプライチェーン問題に起因する完成車メーカーの工場稼働停止により受注が減少しましたが、円安の影響により、売上高は1,129億円(前年同期比12.2%増)となりました。

利益面では、受注減少による利益の減少を挽回するべく固定費の削減や労務費の適正化などに努めたものの、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰が大きく影響し、営業利益は1億円(前年同期比96.5%減)となりました。経常利益は、為替相場の変動により当社が保有する海外子会社への外貨建ての貸付金に対して発生した為替差益などにより27億円(前年同期比25.5%減)となりました。

特別損益については、フランスにおける閉鎖した拠点の資産売却により固定資産売却益を計上しました。これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億円(前年同期比20.1%減)となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減	増減率
売上高	1,006	1,129	123	12.2%
営業利益	34	1	△33	△96.5%
経常利益	37	27	△9	△25.5%
税金等調整前四半期純利益	38	32	△6	△16.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	25	20	△5	△20.1%

地域セグメントごとの業績は次の通りです。

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	前期	当期	増減	増減率	前期	当期	増減	増減率
日本	487	498	11	2.3%	33	13	△20	△60.7%
北米	242	302	60	24.6%	△19	△23	△4	－%
欧州	94	96	2	2.0%	△1	△3	△2	－%
中国	85	91	5	6.4%	1	△4	△6	－%
タイ	48	50	2	3.2%	6	4	△2	△33.6%
インドネシア	129	172	43	33.7%	12	12	0	1.2%
連結消去	△79	△79	△1	－%	2	2	0	9.1%
連結	1,006	1,129	123	12.2%	34	1	△33	△96.5%

## ① 日本

半導体不足の継続に加え、中国のロックダウンによる部品供給の停滞があったものの、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰影響の一部を販売価格に転嫁したことや一部完成車メーカーの受注回復傾向により、売上高は498億円(前年同期比2.3%増)となりました。

利益面では、上記販売価格への転嫁や、材料スクラップ率改善や生産性向上などの合理化による利益の確保に努めたものの、市況高騰の影響が想定以上に大きく、営業利益は13億円(前年同期比60.7%減)となりました。

② 北米

半導体不足による完成車メーカーの減産影響の継続があった一方で、円安影響や補修品ビジネス市場における摩擦材製品の交換需要増加に加え、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰影響の一部を販売価格に転嫁したことにより、売上高は302億円(前年同期比24.6%増)となりました。

利益面では、補修品ビジネスの受注増加に加え、人員の適正化などの合理化や経費削減に努めたものの、市況高騰の影響が大きく、営業損失は23億円(前期は営業損失19億円)となりました。

③ 欧州

フランスのアラス工場を6月末に閉鎖したことにより受注は減少しましたが、スロバキア工場では半導体不足の影響が改善傾向にあることに加え、円安の影響もあり売上高は96億円(前年同期比2.0%増)となりました。

利益面では、生産性向上などの合理化に努めたものの、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰の影響などにより、営業損失は3億円(前期は営業損失1億円)となりました。

④ 中国

中国国内市場の自動車生産台数や販売は回復基調にあるものの、ロックダウンや半導体不足などの影響により主要な日系完成車メーカーを中心に受注が減少しましたが、円安の影響により売上高は91億円(前年同期比6.4%増)となりました。

利益面では、生産性向上などの合理化に努めたものの、受注減少による利益の減少に加え原材料価格やエネルギーコストの市況高騰が影響し、営業損失は4億円(前期は営業利益1億円)となりました。

⑤ タイ

日系完成車メーカーのモデルチェンジによる生産終了や、半導体不足による完成車メーカーの減産影響があったものの、主力製品の受注回復や円安の影響があり、売上高は50億円(前年同期比3.2%増)となりました。

利益面では、材料スクラップ率改善や生産性向上などの合理化に取り組んだものの、受注減少及び原材料価格などの市況高騰の影響により、営業利益は4億円(前年同期比33.6%減)となりました。

⑥ インドネシア

半導体不足の影響が段階的に改善傾向にあり、小型乗用車用製品の受注が好調なことから、売上高は172億円(前年同期比33.7%増)となりました。

利益面では、原材料価格などの市況高騰や前期に発生したインドネシア工場火災によるエクストラ費用の発生があったものの、受注の増加により、営業利益は12億円(前年同期比1.2%増)となりました。

(注) 当第3四半期連結累計期間とは

(1) 北米・中国・タイ・インドネシア：2022年1月～2022年9月

(2) 日本・欧州：2022年4月～2022年12月 となります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：億円)

(資産の部)	前期末	当期末	増減	(負債・純資産の部)	前期末	当期末	増減
流動資産	749	806	58	流動負債	318	364	46
現金及び預金	303	282	△21	仕入債務	176	228	51
売上債権	250	295	45	有利子負債	10	14	4
棚卸資産	167	193	26	その他	131	122	△9
その他	29	37	8	固定負債	590	592	1
固定資産	648	688	40	有利子負債	482	494	13
有形固定資産	466	512	46	その他	109	98	△11
投資有価証券	77	63	△14	負債合計	908	955	48
その他	105	113	8	純資産	489	539	50
総資産	1,397	1,494	98	負債・純資産	1,397	1,494	98

## (資産)

当期末の資産は1,494億円と前期末比98億円の増加となりました。

流動資産は806億円と前期末比58億円の増加となりました。これは主に、設備投資などにより現預金が21億円減少した一方で、円安の影響や受注の回復などにより売上債権が45億円、棚卸資産が26億円それぞれ増加したことによるものです。固定資産は688億円と前期末比40億円の増加となりました。これは主に、減価償却費を計上した一方で設備投資及び円安の影響により有形固定資産が46億円増加したことによるものです。

## (負債)

当期末の負債は955億円と前期末比48億円の増加となりました。これは主に、円安の影響や受注の回復などにより仕入債務が51億円増加したことによるものです。なお、有利子負債残高508億円から「現金及び預金」を控除したネット有利子負債残高は226億円であります。

## (純資産)

当期末の純資産は539億円と前期末比50億円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が20億円増加したことや円安の影響により為替換算調整勘定が28億円増加したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当期末の現金及び現金同等物は、前期末比21億円減少の282億円となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	31	46	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6	△47	△41
計			
(フリー・キャッシュ・フロー)	25	△0	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△17	△6
換算差額	△4	△4	0

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、税金等調整前四半期純利益32億円や減価償却費47億円があった一方で、売上債権の増加額△19億円や事業再編による支出△8億円などがあり、資金が増加となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、フランスにおける閉鎖した拠点の資産売却などにより有形及び無形固定資産の売却による収入9億円があった一方で、日本・北米・中国を中心とした設備投資により有形及び無形固定資産の取得による支出56億円の計上などがあり、資金が減少となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、長期借入金の返済による支出9億円、ファイナンス・リース債務の返済による支出4億円及び非支配株主への配当金の支払額4億円などにより、資金が減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本日付の「(連結・個別)為替差損(営業外費用)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表したとおり、売上高は1,538億円、営業利益は△5億円、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は未定に、それぞれ修正しております。

<2023年3月期業績予想：地域別の前回予想と今回予想との差異>

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	前回予想	今回予想	増減	増減率	前回予想	今回予想	増減	増減率
日本	697	676	△21	△3.0%	23	14	△9	△39.1%
北米	370	417	47	12.7%	△23	△37	△14	－%
欧州	117	127	10	8.5%	△3	△3	－	－%
中国	164	123	△41	△25.0%	1	△6	△7	－%
タイ	65	68	3	4.6%	7	6	△1	△14.3%
インドネシア	216	235	19	8.8%	23	19	△4	△17.4%
アジア合計	445	426	△19	△4.3%	31	19	△12	△38.7%
連結消去	△109	△108	1	－%	2	2	－	－%
合計	1,520	1,538	18	1.2%	30	△5	△35	－%

前提為替レート：1ドル=132円、1ユーロ=141円

アジア合計は中国、タイ、インドネシアの単純合算

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,303	28,220
受取手形及び売掛金	25,024	29,478
商品及び製品	5,171	5,372
仕掛品	1,918	2,430
原材料及び貯蔵品	9,582	11,465
その他	2,958	3,737
貸倒引当金	△98	△68
流動資産合計	74,856	80,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,257	51,124
減価償却累計額	△38,331	△40,680
建物及び構築物（純額）	9,926	10,444
機械装置及び運搬具	139,992	148,890
減価償却累計額	△120,820	△128,810
機械装置及び運搬具（純額）	19,172	20,080
土地	13,315	13,506
建設仮勘定	2,430	5,198
その他	22,632	23,831
減価償却累計額	△20,869	△21,848
その他（純額）	1,763	1,983
有形固定資産合計	46,607	51,210
無形固定資産	2,430	2,631
投資その他の資産		
投資有価証券	7,729	6,323
退職給付に係る資産	6,214	6,567
繰延税金資産	672	771
その他	1,167	1,295
投資その他の資産合計	15,782	14,956
固定資産合計	64,818	68,796
資産合計	139,674	149,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,623	22,755
1年内返済予定の長期借入金	600	1,150
リース債務	403	251
未払法人税等	493	557
未払費用	6,732	6,597
賞与引当金	1,233	340
設備関係支払手形	1,108	546
その他	3,560	4,181
流動負債合計	31,752	36,376
固定負債		
長期借入金	47,790	49,217
リース債務	366	194
役員退職慰労引当金	3	5
退職給付に係る負債	2,506	2,854
繰延税金負債	3,289	2,929
再評価に係る繰延税金負債	1,617	1,617
その他	3,451	2,354
固定負債合計	59,022	59,168
負債合計	90,773	95,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	19,939
資本剰余金	2,366	2,363
利益剰余金	13,423	15,436
自己株式	△1,612	△1,609
株主資本合計	34,116	36,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,082	3,097
土地再評価差額金	3,790	3,790
為替換算調整勘定	△777	2,015
退職給付に係る調整累計額	1,371	1,121
その他の包括利益累計額合計	8,466	10,023
新株予約権	3	22
非支配株主持分	6,316	7,713
純資産合計	48,901	53,888
負債純資産合計	139,674	149,431

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	100,616	112,890
売上原価	87,378	102,791
売上総利益	13,238	10,099
販売費及び一般管理費	9,801	9,979
営業利益	3,437	120
営業外収益		
受取利息	60	85
受取配当金	180	193
為替差益	901	2,654
その他	203	632
営業外収益合計	1,345	3,564
営業外費用		
支払利息	651	717
製品補償費	86	38
その他	356	179
営業外費用合計	1,093	934
経常利益	3,688	2,749
特別利益		
固定資産売却益	533	580
受取保険金	—	89
特別利益合計	533	669
特別損失		
固定資産除売却損	119	98
事業構造改善費用	144	158
災害による損失	183	—
特別損失合計	446	256
税金等調整前四半期純利益	3,775	3,162
法人税、住民税及び事業税	780	610
法人税等調整額	91	138
法人税等合計	870	748
四半期純利益	2,905	2,414
非支配株主に帰属する四半期純利益	384	401
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,521	2,013

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,905	2,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,105	△986
為替換算調整勘定	765	3,849
退職給付に係る調整額	△147	△290
その他の包括利益合計	1,723	2,574
四半期包括利益	4,628	4,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,806	3,570
非支配株主に係る四半期包括利益	822	1,417

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,775	3,162
減価償却費	4,214	4,675
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△42
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△544	△575
受取利息及び受取配当金	△241	△278
支払利息	651	717
固定資産除売却損益(△は益)	△414	△482
売上債権の増減額(△は増加)	2,400	△1,898
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,579	△98
仕入債務の増減額(△は減少)	△120	3,503
その他	△408	△1,936
小計	5,741	6,749
利息及び配当金の受取額	241	278
利息の支払額	△649	△718
法人税等の支払額	△614	△761
法人税等の還付額	27	28
保険金の受取額	—	89
事業再編による支出	△1,494	△774
その他	△200	△250
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,052	4,641
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,176	△5,621
有形及び無形固定資産の売却による収入	2,566	910
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	19	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△591	△4,691
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△300	△879
非支配株主への配当金の支払額	△165	△429
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△583	△361
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,048	△1,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△385	△363
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,028	△2,082
現金及び現金同等物の期首残高	29,592	30,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,621	28,220

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	43,303	23,321	9,078	8,423	4,457	12,035	100,616	—	100,616
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,378	914	314	100	351	825	7,882	△7,882	—
計	48,681	24,234	9,392	8,523	4,809	12,859	108,498	△7,882	100,616
セグメント利益 又は損失(△)	3,349	△1,918	△95	104	611	1,226	3,278	159	3,437

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	44,710	29,216	9,319	8,462	4,591	16,591	112,890	—	112,890
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,104	991	260	602	369	606	7,932	△7,932	—
計	49,814	30,206	9,579	9,064	4,961	17,197	120,822	△7,932	112,890
セグメント利益 又は損失(△)	1,318	△2,271	△300	△447	406	1,241	△54	174	120

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2023年3月期 第3四半期連結累計期間 決算概要

2023年2月10日

## 1. 連結業績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2021. 4～2021. 12)		当第3四半期連結累計期間 (2022. 4～2022. 12)		増減	増減率
売上高	(100. 0)	100, 616	(100. 0)	112, 890	12, 274	12. 2%
売上総利益	(13. 2)	13, 238	(8. 9)	10, 099	△3, 139	△23. 7%
営業利益	(3. 4)	3, 437	(0. 1)	120	△3, 317	△96. 5%
経常利益	(3. 7)	3, 688	(2. 4)	2, 749	△939	△25. 5%
特別損益		87		413	326	374. 6%
税前四半期純利益	(3. 8)	3, 775	(2. 8)	3, 162	△613	△16. 2%
法人税等・調整額		870		748	△122	△14. 1%
非支配株主に帰属する四半期純利益		384		401	17	4. 4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	(2. 5)	2, 521	(1. 8)	2, 013	△508	△20. 1%
総資産	(前期末)=2022年3月期	139, 674	(当期末)	149, 431	9, 757	7. 0%
純資産	(前期末)	48, 901	(当期末)	53, 888	4, 987	10. 2%
自己資本	(前期末)	42, 582	(当期末)	46, 153	3, 571	8. 4%
自己資本比率	(前期末)	30. 5%	(当期末)	30. 9%	0. 4%	
現預金	(前期末)	30, 303	(当期末)	28, 220	△2, 082	
有利子負債	(前期末)	49, 159	(当期末)	50, 811	1, 653	
ネット有利子負債	(前期末)	18, 856	(当期末)	22, 591	3, 735	
ネットD/Eレシオ	(前期末)	0. 44倍	(当期末)	0. 49倍	+0. 05倍	
営業CF (内数：減価償却費)		3, 052 (4, 214)		4, 641 (4, 675)	1, 588 (460)	
投資CF (内数：設備投資)		△591 (△3, 176)		△4, 691 (△5, 621)	△4, 100 (△2, 445)	
フリーCF		2, 461		△50	△2, 511	
財務CF		△1, 048		△1, 670	△622	
連結子会社数	(前期末)	19社	(当期末)	19社	—	
期中平均レート	USD	USD 109. 1円	USD	USD 129. 5円	20. 4円	
	EUR / CNY	EUR 131. 0円/ CNY 16. 9円	EUR 140. 8円/ CNY 19. 5円	9. 9円/ 2. 6円		
	THB / IDR	THB 3. 4円/ IDR 0. 008円	THB 3. 7円/ IDR 0. 009円	0. 3円/ 0. 001円		

## 2. 地域別業績

(単位：百万円)

		前第3四半期連結累計期間 (2021. 4～2021. 12)		当第3四半期連結累計期間 (2022. 4～2022. 12)		増減	増減率	為替換算 影響
売上高	日本		48, 681		49, 814	1, 133	2. 3%	—
	北米		24, 234		30, 206	5, 972	24. 6%	4, 748
	欧州		9, 392		9, 579	187	2. 0%	671
	中国		8, 523		9, 064	541	6. 4%	1, 211
	タイ		4, 809		4, 961	152	3. 2%	349
	インドネシア		12, 859		17, 197	4, 338	33. 7%	2, 319
	連結消去		△7, 882		△7, 932	△50	—	—
	連結		100, 616		112, 890	12, 274	12. 2%	9, 298
営業利益	日本	6. 9%	3, 349	2. 6%	1, 318	△2, 032	△60. 7%	—
	北米	—	△1, 918	—	△2, 271	△353	—	△357
	欧州	—	△95	—	△300	△205	—	△21
	中国	1. 2%	104	—	△447	△551	—	△60
	タイ	12. 7%	611	8. 2%	406	△205	△33. 6%	28
	インドネシア	9. 5%	1, 226	7. 2%	1, 241	15	1. 2%	167
	連結消去	—	159	—	174	14	9. 1%	—
	連結	3. 4%	3, 437	0. 1%	120	△3, 317	△96. 5%	△242